

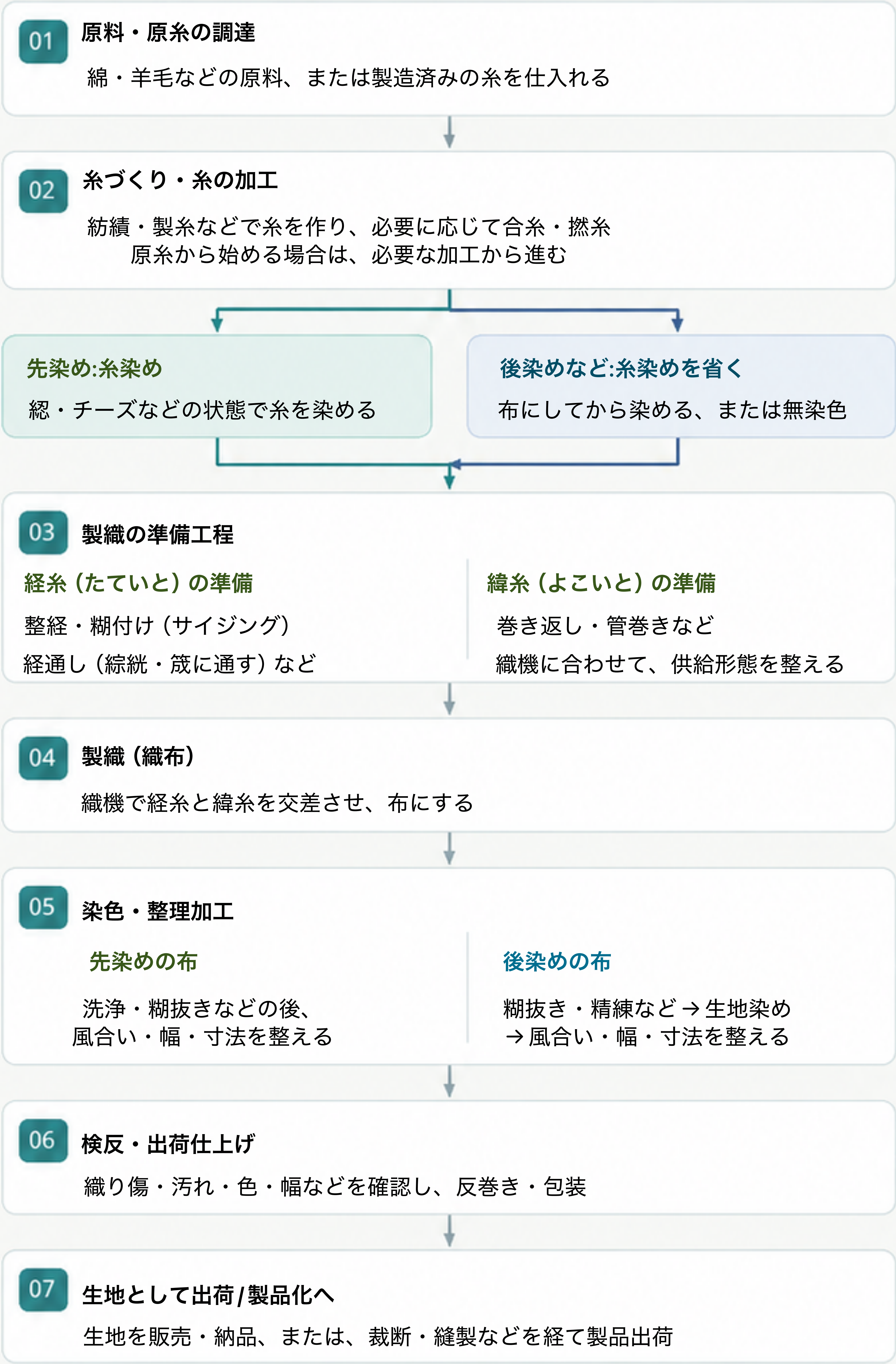
繊維産地の基本構造

織物産地を一例に、工程と事業者のつながりを見る

Itomap

産地は、工程を担う企業と、それを支える仕事がつながる地域
糸や布の受け渡しに加え、技術・情報・取引の関係がものづくりを支えます。

糸・布ができる流れ



工程をつなぎ支える仕事

産地内外との連携

企画・受注・調整

産元・商社・メーカー等

商品を企画し、仕様を決める
原料・加工先を手配する
納期や品質を調整する
販売先と産地をつなぐ

設備・資材・物流

機料屋・部品屋
織機メーカー・修理業者
染料・薬剤などの資材業者
運送・倉庫業者

技術・人材・情報

公設試験研究機関
組合・教育機関など
試験・開発・人材育成を支援

工程全体との連携

仕事の分け方は産地ごとに異なり、
一社で複数工程を担う場合もあります。

原料の調達先・加工先・販売先は、
地域の外にもつながっています

図の見方

工程名ごとに、「一社」があるとは限らず、すべてが同じ地域内に揃う必要もありません。
このつながりの中で、得意な素材・技術・製品や取引関係が積み重なり、産地の特色になります。

※ 代表的な流れです。素材・製品・設備により、工程の省略・追加・順序変更があります。

※ 整経・糊付けは主に経糸の工程です。検反は製織後など途中にも行われます。

※ 無染色・捺染などの経路は一部省略しています。